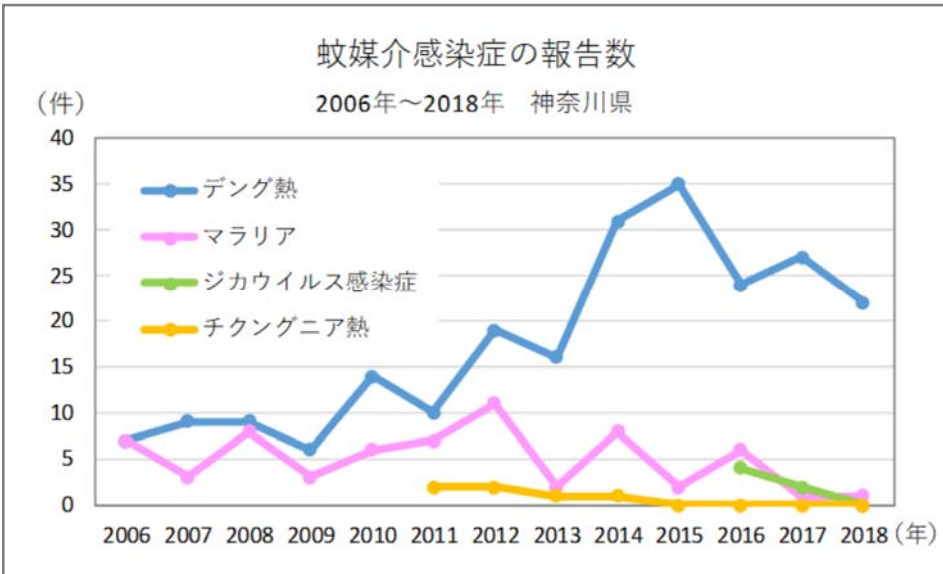


蚊媒介感染症に気をつけて

2006年～2018年 神奈川県が発生報告から分かること

2014年のデング熱国内感染、2016年の中南米でのジカウイルス感染症の流行など、たびたび話題になる蚊媒介感染症ですが、神奈川県でも報告がみられています。県内の報告から、発生状況や感染地域を知り、蚊媒介感染症にかからないように対策をしましょう。

神奈川県内の主な蚊媒介感染症の報告数年次推移



神奈川県の蚊媒介感染症の報告では、デング熱が最も多く、マラリアは少数ながらも毎年みられます。

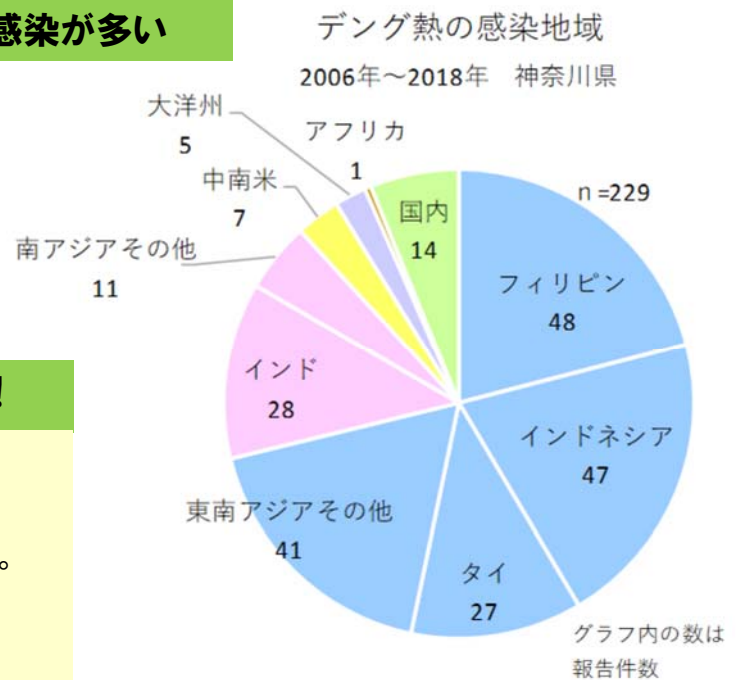
2014年は、デング熱の国内感染例が県内でも報告されましたが、それ以外はすべて国外感染例でした。

* 2011年よりチクングニア熱、2016年よりジカウイルス感染症が全数把握対象疾患となりました。

デング熱はアジア、マラリアはアフリカでの感染が多い

デング熱の感染地域の内訳を右に示します。日本から旅行、出張、留学で渡航者が多い東南アジアや南アジアでの感染が多くみられます。

マラリアはアフリカ、ジカウイルス感染症は中南米での感染が多くみられます。



海外でも国内でも、蚊に刺されないように！

1 蚊に刺されない！

長袖・長ズボンを着用し、肌の露出を減らす。
虫よけ剤（ディート・イカリジンなど）を使う。
蚊取り線香・蚊帳を使うのも効果的。

2 蚊を増やさない！

水たまり（幼虫のすみか）を作らない。
下草（蚊のたまり場）を刈る。

3 蚊媒介感染症にかかってしまったら

早期診断・早期治療が大切。
受診時に必ず渡航歴を申し出ましょう。



神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<http://www.eiken.pref.kanagawa.jp>

（令和元年6月作成）